

進路情報2018 No.2



進路指導係 笠原

修学旅行を終え、部活動・委員会活動、そして学習等の日常生活へと気持ちを切り替えるとともに、中学校生活最後の年を過ごすにふさわしい学級・学年にしていきたいと思えます。

さて、3年生にとって今年は進路決定の年です。大切な一年間になりますが、保護者の皆様の適切な援助とご協力により、一人ひとりがよりよい進路決定ができるように力を尽くしていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。このゴールデンウィークが大切なスタートになります！！

・ ・ 3学年の学習と進路指導 ・ ・

I 3学年の学習

1 日々の学習で大切にしてほしいこと

- (1) 「生活の一場面一場面が学習」→教科学習、学活、清掃、給食、係活動、部活動 etc
時間を守る、提出期限を守る、責任をもって仕事をする、これも大切な学習。生活習慣が学習習慣をつくり、学習習慣が学力をつける。
- (2) 「初心、忘れるべからず」→今のやる気を大切にする
新しい教科書や新しい先生との出会いなどから、「3年生になったから、頑張るぞ！」というやる気と新鮮な気持ちを持続させましょう。昨年までの自分から抜け出る、成長する芽を伸ばす絶好のチャンス。
- (3) 「継続は力なり」→0から1をつくる
毎日コツコツと取り組むことで、ついていく力をおろそかにしない。日々の家庭学習や、斜面の書き取りなど、続けることが大切です。
- (4) 「面白さを見つける努力」→「やらされる学習」から「自らする学習」へ
興味をもつ。自分に必要だから学習する。授業でわかって、家で覚える。授業で「わかる」までにし、家庭学習で「できる」までにしたい。
- (5) テスト年間計画を見て、計画的に学習をする。
何事も見通しが大切です。入試の傾向をとらえて、対策を立て、実行していきましょう。3年生の学習をしつつ、1・2年生の復習を行うこととなります。無計画では絶対に進みません。

2 3つの入学検査方法に対する準備を（学校推薦・自己推薦・学力検査）

公立高校には、前期選抜（自己推薦：志願理由書、面接、小論文）、後期選抜（主に学力検査・面接）があります。私立高校には学校推薦、自己推薦、一般入試（主に学力検査）などがあります。どんな学習をして準備していけばよいか、以下の3点から考えてみましょう。

(1) 調査書

9教科の学習成績の5段階評定、特別活動の記録（生徒会、学級活動、学校行事）、特技や特筆すべき活動の成果（部活動、社会活動など）、資格（英語検定、漢字検定、数学検定などの検定、習い事の段位など）など、中学校生活3年間の記録がまとめられます。いうまでもなく、どの入学検査でも重要な資料となります。日々の生活、授業を大切にいくしかありません。特に、学校推薦や自己推薦での合格を目指す生徒は、教科学習はもちろんのこと、特別活動、特技、資格、基本的な生活習慣などで高い評価を得る必要があります。

(2) 学力検査

公立高校は国・社・数・理・英の5教科。私立は国・数・英の3教科で学力検査が行われることが多いです。いわゆる筆記試験ですので、問題を解く力を高める必要があります。（何年度入試からかは未定ですが、昨年度学力試験を、前期・後期に関わらず実施していくことが決定しました。より一層の学力が求められています。）夏休みまでは主に苦手教科の克服を頑張りましょう。そして、「夏休み終了時には半分勝負がついている。2学期末には8割勝負がついている」ということをお忘れずに、授業を大切に、一日一日の積み重ねを大切にしていきたいと思います。

(3) 面接、小論文

公立高校前期選抜では、面接と小論文を行う高校がほとんどです。面接では、わずか数分で自分のよさを伝えなければなりません。日頃から、人と接する時の自分を意識してみましょう。また小論文は、文章力と表現力が問われます。意欲的に本を読み、生活記録や斜面などで、文章を書く習慣を身につけておきましょう。

Ⅱ 3学年の進路指導

1 「進路情報」と「進路コーナー」を活用しよう

進路について考える時、「情報」はとても大切になります。必要に応じて「進路情報」を発行します。学年通信でも、情報や様子をお知らせしますので、生徒と保護者のみなさんと、共に読んで、進路について考えていってください。また、「進路コーナー」を設置する予定です。高校のパンフレットや学校公開などの情報が到着次第掲示されます。もっと知りたいことがあったら、担任や進路担当（笠原）に遠慮なく質問してください。インターネットで各高校のホームページにアクセスしてみるのもいいでしょう。

2 中学校での進路指導の窓口は学級担任

担任の先生の仕事は調査書を記入するだけではありません。一人ひとりの夢が実現するように、個々の悩みを理解し、進路情報を集め、的確なアドバイスをしていきます。生徒、保護者のみなさんとともに、進路の相談を遠慮なくしてください。

3 進路を選択するのは自分自身、家庭で十分な話し合いを

もし、生徒と保護者の意見が違う場合は、納得のいくまで話し合うことです。しかし、最後に決めるのは生徒自身です。家族みんなが納得できるように、今から話し合いの場をもってください。

意識しなくても、これからの時期いろいろな不安から、情緒的に不安定な状況になりがちです。はっきり分かるテスト点での評価だけでなく、それまでの過程をよく見て、認めていけるような場面を多く見つけ、自信をもたせていってください。

4 提出物の期限を絶対守る！

提出物は、学校で連絡された期限を絶対を守ってください。また、進路希望調査や受検手続き願いなどに記入した内容を変更する時には、必ず、生徒と保護者の皆さん両方からの連絡をお願いいたします。尚、高校の体験入学の申し込みについては、対外的なものでもあり、校内でとりまとめたものを一括して、各高校に締め切りを守って申し込んでいるものですので、校内の締め切りを過ぎたものについては、受け付けることができません。ご理解いただき、ご協力をお願い致します。もちろん高等学校でも、入試関係のものは時間を過ぎたら受け付けてもらえません。

5 体験入学の参加の仕方について

たとえ休日でも、体験入学や公開授業では、東中学校の生徒として参加することになりますので、中学校のルールに沿って、参加してもらいたいと思います。高校の先生方も各中学校の生徒の様子をよく見ています。服装や持ち物は、すべて中学校の決まりに沿って参加するようにご協力をお願い致します。

☆各種奨学金（予約募集） *それぞれ申し込み資格があります。各クラス担任にご相談ください。

- 1 長野県高等学校等奨学金（無利子貸与）：長野県教育委員会
- 2 あしなが高校奨学金（無利子貸与）：あしなが育英会
- 3 交通遺児奨学金（無利子貸与）：交通遺児育英会

☆授業公開・体験入学・学校説明会（中学生・保護者対象）

*随時、進路通信でお知らせします。